4年	科目	回路理論Ⅲ	講義	通年	担当	佐藤 憲史
電気電子工学科	17 🗆	Circuit Theory III	必修	2学修単位(講義 60+自学自習30)	距当	SATO Kenji

## 授業の概要

前半は、3年次までに講義した定常現象回路の変成器、3相交流回路について講義する、後半は過渡現象、ひずみ波について講義する、これらの回路理論を理解すると共に、実際の回路例えば電子回路、電力、計測回路などへの応用ができる ように演習も多く取り入れる.

		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
本校学習・教育目標(本科の	0	2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
み)		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑚を継続する姿勢
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)			. 工学的な解析・分析力及びこれらを創造的に統合する能力
実践指針 (専攻科のみ)			

## 授業目標

- ・変成器:基本式を導き種々の等価回路について学習し、実際の回路解析ができるようにする. ・三相交流:対称三相の理論を中心に電圧、電流、電力及びその測定法を講義し、これを用いて三相回路の解析ができる ようにする。
- ・過渡現象: 微分方程式を用いて、基本的な回路の過渡現象を解析し、その結果を用いて回路の物理的現象を考察する. ・ひすみ波:フーリエ級数を用いて、ひずみ率、波形率など、ひずみ波を解析する方法を学ぶ.

授業計画							
第1回	オリエンテーション	学習・教育目標,授業概要・目標,スケジュール,評価方法と基準等の説明					
第2回	変成器 I	変成器の基本式, 2巻線変成器と等価回路, 単巻変成器					
第3回	変成器Ⅱ	理想変成器とその特性, 一般の変成器の理想変成器による表現					
第4回	変成器Ⅲ	多巻線理想変成器, 演習					
第5回	三相交流	回転磁界と二相交流、三相交流回転磁界					
第6回	三相交流電源	Y電源, Δ 電源, Y-Δ 変換とベクトル表示					
第7回	対称三相回路 I	Y-Y接続の電圧電流, Δ -Δ 接続の電圧電流					
	前期中間試験	これまでの授業に対する到達度を筆記試験により調べる.					
第8回	対称三相回路Ⅱ	負荷のY−Δ 変換, Y電源−Δ 負荷, Δ 電源−Y負荷					
第9回	非対称三相交流	非対称電源のΔ - Y変換,非対称負荷のΔ - Y変換					
第10回	三相電力 I	三相電力の計算法					
第11回	三相電力Ⅱ	三相電力の測定法, ブロンデルの定理					
第12回	例題,演習						
第13回	過渡現象	過渡現象論概説					
第14回	演習						
	前期末試験	これまでの授業に対する到達度を筆記試験により調べる.					
第15回	前期まとめ	試験結果の解説と復習					
第16回	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明					
第17回	過渡現象 I	RC回路の過渡現象と解法とその意味					
第18回	過渡現象Ⅱ	RL, RLC回路の過渡現象					
第19回	過渡現象Ⅲ	RC, RL, RLC回路における初期条件の取り扱い					
第20回	ラプラス変換 I	ラプラス変換の基礎					
第21回	ラプラス変換Ⅱ	ラブラス変換とその演習					
第22回	ラプラス変換Ⅲ	ラプラス逆変換とその演習					
	後期中間試験	これまでの授業に対する到達度を筆記試験により調べる.					
第23回	ラプラス変換Ⅳ	ラプラス変換を用いた過渡現象の解法-1					
第24回	ラプラス変換Ⅴ	ラプラス変換を用いた過渡現象の解法-2					
第25回	ラプラス変換Ⅵ	繰り返しの波のラプラス変換と過渡現象及び演習					
第26回	ひずみ波交流I	ひずみ波交流概説とフーリエ級数展開定理					
第27回	ひずみ波交流Ⅱ	ひずみ波のフーリエ級数展開,基本波,高調波,平均値,実効値,ひずみ率,波形率波高					
第28回	演習I						
第29回	演習 Ⅱ 学年末試験						
第30回	子年木試験   総括	これまでの授業に対する到達度を筆記試験により調べる. 試験結果の解説と総括					
評価方法 と基準	年4回ある定期試験 て60点以上の学生:	で,授業内容の理解と基本的な計算能力を試験する.100点満点の試験を4回行い,平均し を合格とする.					
教科書等	• 回路理論基礎(柳沢 健 著,電気学会) • 電気回路(喜安善市/斉藤伸自 著,朝倉書店)						
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
	バスペッドルについるか						